



南部町立南部中学校 学校だより 第9号

千一ム南部中

令和元年 7月22日(月)
校長 望月和彦

1学期が終了しました。充実した夏休みを！

本日で令和元年度の1学期が終了しました。2・3年生の授業日は71日、1年生は70日でした。今学期は入学式から始まり、様々な大きな行事がありました。1年生の「ふるさと探訪」や「福祉施設訪問」、2年生の「宿泊体験学習」や「職場体験学習」、3年生の「修学旅行」や「高校説明会」などなど。当日までの取組も含めて、各行事の中で生徒たちはたくさんのお話を学び、体験することができました。大きな成果をあげると共に、失敗や課題はこれからの成長への材料とすることができました。また、選手権大会や総合体育大会、ソロコンサート、陸上競技大会など部活動や体育面での大きな行事もありました。結果として次の県大会に進める部や個人もあれば、引退する3年生や新チームでの活動がスタートした部もあります。各部や個人で成果と課題を考え、次なる目標を定めながら、こうした活動が一人ひとりの成長に繋がるよう支援していきたいです。夏休みの県大会や吹奏楽コンクール、さらには関東大会に向けても活躍を期待しています。



3年生給食
心を込めていただきます

こうした行事ばかりでなく、日常生活の中でも、様々な良い面が見られた1学期でした。普段の授業の様子を見ると、どの授業にも生徒たちは真面目に取り組んでおり、授業を大切にしている様子が見られます。「気持ちの良いあいさつ」「朝読書」「無言清掃」「脚下照顧」「タイム席」などこれまで築かれてきた南部中文化を継承し、レベルアップさせようとする意欲を感じます。生徒一人ひとりが様々な場面で頑張れたと同時に、学級、学年、生徒会などが、より良い集団をめざして、レベルを向上させようと提出物、家庭学習、授業態度の改善などに取り組めました。



2年生合同朝の会
上履きに注目！

本日、すべての生徒たちには通信表が渡されました。通信表には、各教科の学習の状況、道徳科や総合的な学習の時間の評価、特別活動や行動の記録、出欠席の記録が書かれています。さらに「学校から家庭へ」の通信欄には、学級担任から生徒一人ひとりや保護者に向けて、1学期に頑張ったことや成長できたこと、課題や次の目標としてあげられること、夏休みや2学期に向けてのアドバイスなどが書かれています。私もすべて読ませてもらいましたが、担任からの一人ひとりの生徒に対する期待が込められていました。保護者の皆様には、通信表をじっくり読んでいただき、内容についてお子さんとゆっくり話をさせていただきたいと思います。よくできたことは大いに褒めてやり、夏休みや2学期に向けて、保護者としての気持ちを伝えてください。

明日7月23日から8月25日までは、34日間の夏休みになります。夏休みといっても、部活動や学年ごとの学習会があったり、輝城祭に向けた取組があったり、生徒たちの登校する日はかなりあると思います。しかし、学期中と違い、生徒たちに自由に使える時間もたくさんあります。家庭学習に打ち込んだり、趣味に没頭したり、家族や親戚とどこかに出かけたり、普段できないことにチャレンジしたり、友だちと遊びに出かけたり、地域の行事やボランティアに参加したり…たくさんの自由な時間も、ポーッとしていると何もできないまま終わってしまいます。生徒たちには、その自由な時間をどう使うかしっかり考え、やらなければならないことは意地でも頑張る強い心も持って、充実した夏休みにしてほしいと願っています。8月26日の始業式には、課題をやり遂げ、2学期への決意を抱いて、満足そうに笑顔で登校してくる生徒たちに会えることを楽しみにしています。



1年生朝読書
全員が集中！

同じ地域の学校として身延高校との連携

今年度から正式スタートした連携型中高一貫教育校の取組の中核となる事業が「アシスト授業」です。身延高校の先生が、南部中の授業のサポートに入ってくれるアシスト授業については学校だよりの



第5号に掲載しました。もう一つのアシストが「逆アシスト授業」です。4月から本校の青木直之教諭と千野彩佳教諭が水曜日の午前中、身延高校に出向いて高校1年生の授業に入り、数学と英語の授業を受けている生徒のサポートをしています。身延高校の1年生には本校の卒業生が30人おり、入学直後の不安な状況の中でも青木教諭や千野教諭が教室の中にいることで、気軽にわからないところを教えてもらったり、不安な部分をサポートしてもらったりしています。同様に身延中学校からも2



名の先生が逆アシストのために身延高校の授業に入っています。逆アシストは、入学直後の高1ギャップ（中学校の授業と高校の授業の違いに戸惑い悩むこと）の解決を目的にしているのです。1学期で終了します。私は7月17日の最後の逆アシストの授業を参観させていただきました。青木教諭と千野教諭は、机間巡視をしながらわからないところを聞いてきた生徒に丁寧に教えてあげたり、つまづいている生徒にヒントを与えたり、きめ細かなサポートをしていました。同じ地域の中学校と高校が連携して、同じ地域の生徒を中高の教員が協力して育てていく大切な取組だと改めて感じました。

この他にも中高連携事業として、夏休み中の7月31日から8月2日には、身延高校の先生方が中学3年生に国語、数学、英語、理科の4教科の入試対策を指導してくれる「サマーセミナー」が実施されます。本校からは40人ほどの3年生が参加する予定です。7月29日には南海トラフ地震等の災害時に中高生がリーダーとして活動するための意欲や知識を学ぶ「防災サマーセミナー」が身延高校で開催されます。生徒会本部役員が参加する予定です。

様々な方々による学校支援

ふれあい学級とあじさい学級の生徒たちが、菊づくりにチャレンジしています。菊づくりには専門的知識と技術が必要です。万沢在住の望月治美さんが、生徒たちのために何度も学校に足を運び、丁寧に教えてくださっています。



富河在住の望月由美さんは本校の卒業生のお母さんで、毎年玄關に綺麗な生け花をいけてくださっています。先日お話を聞いたところ、統合前の富河中時代からはじめられた活動だそうで、もう13年ほどになるそうです。



7月7日、富士宮吹奏楽団の方々15名が吹奏楽部の演奏指導をしてくださいました。午前中は楽器ごとに分かれて、午後は全体合奏を指導してくださいました。こちらも統合前の万沢中時代から続いている活動だそうです。



県大会の結果

7月6日(土) **山梨県中学校ソフトテニス選手権大会**
(会場：石和中央テニスコート)
常田遥・近藤聖斗組 3回戦敗退
小倉隆平・小倉康平組 初戦敗退

7月13日(土) **山梨県中学校水泳競技大会**
(会場：小瀬運動公園水泳場)
女子200m平泳ぎ 第3位 小池咲來

※小池咲來さんは本年度の関東大会出場決定者第1号になりました。おめでとうございます。



